

第140期京都中央労働学校 募集要項

申し込みの手続きは「申込用紙」に必要事項を記入し、受講料をそえて申し込んでください。

募集の定員は、各コース60名です。(定員になり次第〆切ります)

講義時間は、午後7時～9時10分(休憩も含まれます)

総合コースは、18回講義のうち12回以上出席し受講料を納入された方に修了証書をお渡しします。

それ以外のコースは、9回講義のうち6回出席で修了証書をお渡しします。

テキストは、総合コースはレジュメを準備しております。世界観コースは、エンゲルス著『フォイエルバッハ論』(新日本出版社)、経済学コースは、マルクス著『資本論』第2・3分冊(新日本新書)を使います。注文の方は、申込用紙に記入を。

受講料は、総合コースは、10,000円、それ以外は、8,400円です。

金額に消費税が含まれています。

各コースの会場は、『京都学習会館』(上京区堀川丸太町西一筋目上ル)です。

電話(075)841-8141

FAX(075)821-3665

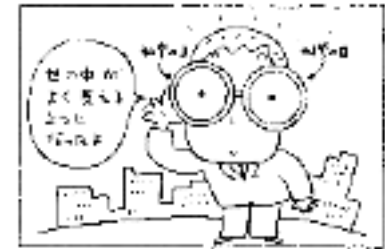


二・四輪共に駐車場はありません。二条城市営駐車場へお願いします。

地下鉄丸太町駅・二条城前駅から『京都学習会館』まで歩いて10分以内です。

キリトリ

あなたは“雇われて働く”ことをどう思いますか
 “資本主義”は未来永劫つづくとおもいますが
 どうにもならない“閉塞感”を
 切り開こうと思いませんが



労働学校で 科学的社会主義を学ぼう

第140期京都中央労働学校 申込用紙				
申込みコースチェック		総合	世界観	経済学
ふりがな		性別	年齢	
氏名:		男・女	才	
現住所				
職場・学園				
労働組合	(全国単産))
電話: 職場()	-	自宅()	-	

『フォイエルバッハ論』... 注文する。 『資本論』... 第2分冊 第3分冊 注文する。

科学的社会主義を学ぶ労働者の学校
 京都中央労働学校 140期生募集中心
 申込先は
 京都労働者学習協議会
 電話 841-8141 FAX 821-3665

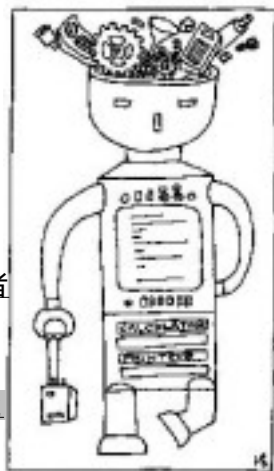


京都中央労働学校は、科学的社会主義を学ぶ学校です。総合コースは、労働学校のメインコースです。私たちの住んでいる日本社会は「資本主義社会」ですが、その仕組みをまず学びます。その社会で生産・流通を支えているのが労働者であり私たちです。その素晴らしさをまなびます。日本国の主人公は国民だと憲法に定められています。しかし主人公がひどい貧困と格差の中にあります。なぜでしょう。沖縄の基地の問題でも県民の意志は県外・国外移転です。それがないがしろにされようとしています。だれが、この日本を支配しているのでしょうか。それを明らかにし、打開の方向を学びます。そこに止まらず、世界的視野から世界と日本の未来について学びます。総合コースでは、「知のESSCENCE」と題して4回にわたって私たちが「ものごと」を見たり考えたりするために必要な、それを学ぶことによって「知的な人生」を切り開く知の鍵ともいえる「知のESSCENCE」を獲得します。などなど、私たちの身近な問題を素材にして科学的社会主義を学ぶのが京都中央労働学校の「総合コース」です。

第140期 総合コース

10/22(土) 開校オリエンテーション

- 10/25(火)第01課 マルクスは何を発見し変革したか
- 10/28(金)第02課 資本主義はどんな特徴をもっているのか
- 11/01(火)第03課 「搾取」 そのしくみと強める方法
- 11/04(金)第04課 「訓練され、結合され、組織され」る労働者
- 11/08(火)第05課 資本主義の「推進力」とその「矛盾」
- 11/11(金)第06課 私たちと戦後日本の歴史
- 11/15(火)第07課 *知のESSCENCE 人間らしさと働くこと
- 11/18(金)第08課 わたしたちの「アジア観・中国観」とは
- 11/22(火)第09課 *知のESSCENCE 人間の知性と自由
- 11/25(金)第10課 日本社会の特徴を考える
- 11/29(火)第11課 *知のESSCENCE ものの見方・考え方のエッセンス



- 12/02(金)第12課 職場と生活を変える労働組合のはなし
- 12/06(火)第13課 政治を変える統一戦線のはなし
- 12/09(金)第14課 わたしたちにとって「労働法」とは
- 12/13(火)第15課 *知のESSCENCE マルクスの社会観とは
- 12/16(火)第16課 「資本主義の限界」とはどういうことか
- 12/20(金)第17課 世界中で「変革」の実践がすすんでいる
- 12/23(火)第18課 人類の未来社会「社会主義・共産主義」とは

総合コース講師団 芦田文夫・立命館大学名誉教授//野口義直・摂南大学講師//井手幸喜・橘大学講師//牧野広義・阪南大学教授//林昭・龍谷大学名誉教授//山本善五郎・JMIU副委員長//鯉坂真・関西大学名誉教授//萬井隆令・龍谷大学教授



講師は
世界観コースは、鯉坂真先生
経済学コースは、上瀧真生先生

世界観コース

第140期では、エンゲルス著「フォイエルバッハ論」をテキストに科学的社会主義の世界観を学びます。

エンゲルス著「フォイエルバッハ論」から学ぶ

- 10/22(土)開校オリエンテーション
- 10/28(金)第01課 18世紀のヨーロッパ マルクス・エンゲルスが生きた時代
- 11/04(金)第02課 弁証法とは何か ヘーゲル弁証法の革命的性格
- 11/11(金)第03課 哲学の根本問題 思考と存在の関係
- 11/18(金)第04課 18世紀の唯物論と現代唯物論
- 11/25(金)第05課 人間とはなにか、その本質
- 12/02(金)第06課 世界をあらわれるままにとらえるために
- 12/09(金)第07課 社会と歴史の経済的基礎、発展の原動力とは
- 12/16(金)第08課 政治・法律・イデオロギー・等と経済的諸関係
- 12/23(金)第09課 「哲学者たちは、世界をさまざまに解釈しただけである。しかし、肝要なのは、世界を変えることである。」 フォイエルバッハにかんするテーゼ



経済学コース

マルクス著『資本論』を学んでゆきます。第140期は、もうけを増やすとはどういうことなのか、貧困と格差がどうのようにして深まるのか、これを学びます。

第2部 資本はどうやってもうけをふやすか？

- 10/22(土)開校オリエンテーション
- 10/24(月)第01課 資本の世界はどんな世界か？
- 10/31(月)第02課 労働時間はなぜ長くなるか？ 労働時間はどうやって決まるか？
- 11/07(月)第03課 労働時間をめぐり争いはいかに繰り広げられたか？
- 11/14(月)第04課 決められた労働時間の中でどうやってもうけをふやすか？
- 11/21(月)第05課 なぜ資本は大勢の働き手を集めるか？
- 11/28(月)第06課 なぜ資本は作業の分担をすすめるか？
- 12/05(月)第07課 なぜ資本は機械を使うか？
- 12/12(月)第08課 機械の使用は働き手になにをもたらすか？(1)
- 12/19(月)第09課 機械の使用は働き手になにをもたらすか？(2)

